

2014年6月3日開催 第589回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長 上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、中野健二郎委員、東野博昭委員、若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
泉報道局長、岡山編集長

◆ 審議事項

報道番組「VOICE」(5月1日、13日放送)について意見交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 落ちついた雰囲気報道されていて、非常にいい印象を全般的に持った。
話題に合ったコメンテーターを用意していて、報道番組としての質は非常に評価できる。
- * 構成的にも親しみやすく、わかりやすく、変に押しつけがましくなくて、好感を持って見ることができた。
限られた時間の中でどれだけ深みを出していくか、複数の視点を提示するのは難しいが、キャスターとコメンテーターのやりとり、言葉のキャッチボールをすれば出てくるんじゃないか。
- * 関西の視点とか情報の伝え方は相変わらず非常にまとまっていいていい。
有能な女性アナウンサーが、生放送の間にはほとんど活躍してない。何のためにいるのかという感じがしてもったいない。
- * 若い記者のための取材ルールをもう一回徹底したほうがいいんじゃないか。信頼関係づくりというのはすごく大事だということも、改めて伝えていただきたい。
- * 「案内役」の西キャスターが、見ている側と、コメンテーターも含めての放送する側との間に立って、うまく翻訳して届ける役目に徹していて好印象。
- * 「VOICE」らしいコメンテーター、アシスタントとキャスターとの役割を考えただいたらどうか。
- * キャスターと言われる女性が2人いて、十分実力があるのに使い切れていない。彼女たちがどういう切り口をするのか、非常に楽しみなところで、上手に使えないのは問題。
- * コメンテーターに短い時間にコメントを求めるので、なかなか十分には伝わってこない。どういう話題を出すかは事前にわかっているのだから、十分な打ち合わせをしたほうがいい。

以上